

あつぎ郷土博物館NEWS1月号

展示会
案内

特別展「**寿** -毛利家と共に-」②

江戸の**大江広元**、何を語るのか？

戦国大名として名を馳せた毛利元就の毛利家は、鎌倉時代、源頼朝の重鎮・大江広元が、毛利荘(現在の厚木市の一部)を受領し4男の季光に引き継いだことから始まります。市制70周年特別展「**寿** -毛利家と共に-」は、その毛利氏にスポットをあ



て、1月24日(土)から3月1日(日)まで、あつぎ郷土博物館で開催いたします。

図は、大江広元が描かれた2枚組の浮世絵、「かるたあわせ鎌倉武勇六家仙」(あつぎ郷土博物館蔵)。幕末の世相を鎌倉時代に置き換えた風刺画です。真中の女性は、政子御前(北条政子)で天璋院篤姫を表し、「老いては子に従え」。右側、薩摩藩を表す北条時政が「縁の下の力持ち」、さらにその下、九郎義経(源義経)は「骨折り損のくたびれ儲け」の会津藩。左側は源実朝で「身から出た錆」の徳川慶喜、その上が長州の暗喩で大江広元、「江てにほうあげ」と語られます。

浮世絵は、名所や美人画など、庶民の娯楽でしたが、天保の改革後は世相を風刺し、世の中の出来事や流行を伝える役割も果たしていました。この浮世絵も幕末の出来事、事件を風刺したものです。見立てを楽しみ、かるたの文言にこめられた、武士への辛辣な揶揄がみてとれます。幕末の長州、薩摩藩の役割、幕府方の立ち回りなども併せて考えると、一層楽しいのが江戸の風刺戯画です。

市制70周年を祝う「**寿** -毛利家と共に-」まであと少し！大江広元、毛利季光から始まる毛利家について思いを巡らせつつ、今少しお待ちください。

あつぎ郷土博物館 1月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
NEW 市制 70 周年特別展「寿-毛利家と共に-」1月24日から3月1日まで				
*1月3日までは 年末年始休館				
8	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:30 ～16:00
15	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:30 ～16:00
23	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:30 ～16:00
25	日	特別展関連講座 長州藩毛利家の歴史と文化 ＜参加申込制＞	柴原 直樹氏 (毛利博物館館長)	13:30 ～15:30
26	月	休 館 日		

講演会
案内

寿—毛利家と共に— 関連講座 ＜参加申込制＞

- 長州藩毛利家の歴史と文化～展示の資料から～
 - ◆日 時 1月25日(日) 午後1時30分から3時30分まで
 - ◆講 師 柴原 直樹 氏 (毛利博物館館長)
 - 旧毛利領国の怪談話～八雲とセツが紡いだ物語のゆくえ～
 - ◆日 時 2月8日(日) 午後1時30分から3時30分まで
 - ◆講 師 小泉 凡 氏 (島根県立大学短期大学部名誉教授、八雲曾孫)
 - 現代の殿様～毛利家あれこれ話～
 - ◆日 時 3月1日(日) 午後1時30分から2時30分まで
 - ◆講 師 毛利 就慶 氏 (徳山毛利家第14代当主)
 - ワークショップ 勾玉作り
 - ◆日 時 2月21日(土)、28日(土) 午後1時30分から4時まで
 - ◆参加費 1セット 200円
- * 申込は講座の 10 日前まで、場所はすべて 郷土博物館 体験学習室

- あつぎ郷土博物館 開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)
休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 10時から15時まで(入館は14時30分まで)
休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/23～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005